

R 6 年度自己評価

真学園

評価項目	No.	内 容	評価平均	改 善 案
保育の計画性	1	園の教育理念や教育方針を理解している。	4.9	職員間で話し合うなどして理解を深め、共通理解に努めていく。
	2	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している。	4.8	他職員とよく話し合い、様々な視点から子どもを理解するよう心がけ、願いや意図を込めて作成する。
	3	安全で清潔感のある環境構成をしている。	5	現状に満足せず、常に環境構成を見直すよう心がける。
	4	自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に活かせるように行なっている。	4.6	常に計画・評価・反省を心に留め、他職員とも話し合いながら改善点を見つけていくようにする。
幼児への対応	5	園児の言葉をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めたりするようにしている。	5	一人ひとりの子どもに寄り添う保育、応答的な関わりを今後も続けていく。
	6	万一事故やけがが発生した場合は、適切な手当てを行い、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師にみてもらうなど適切な処置を行っている。	4.9	落ち着いて対応できるように常に心構えを持ち、対応の手順などを頭に入れておく。
	7	園児の理解のために保護者と話し合うことがある。	4.9	家庭と園が連携・協力し合う事で子どもがよりよく育つという意識をしっかりと持つ。
	8	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている。	4.8	園全体で子どもを預かっている事を忘れず、場面に応じて適切な言葉かけをするよう心がける。
資質・能力・適性	9	就業規則等の諸規則を理解し、規則を守り、業務遂行に当たってこまめに報告・連絡・相談を実施している。	4.8	業務を円滑に行う為の規則だということを理解し、報・連・相をしっかりと行って職員間の連携をとっていく。
	10	自らの健康にも配慮し、爪が伸びていないかどうか等、保育する上での安全性にも気をつけている。	4.9	感染症情報に留意し、手洗いうがいや身だしなみのチェックを習慣づけて、安全性を保っていく。
	11	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	4.9	園長を筆頭に些細な事も日頃から話し合うよう心がけ、協力し合える関係性を築いていく。
保護者への対応	12	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いてよく聞く。	4.9	普段から自分の保育観をきちんと持ち、いつでも保護者の話に心を開いて聞ける心づもりをしておく。
	13	個々の子どもの情報は口外していない。	5	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意していく。
	14	正しい日本語、ていねいな言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。	4.7	どのような言葉で伝えればよいか、他職員を参考にしたり、職員間で話し合ったりしてシュミレーションしておく。
社会との自然	15	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。	4.7	常に地域の人に助けられ支えられている事、自分が園の顔であるということを忘れない。
	16	地域の自然や施設の、場所や季節による変化を理解して保育に活かしている。	4.4	情報を積極的に取り入れ、戸外遊びを通して子どもたちが自然や季節の移り変わりに関心が持てるよう働きかけていく。
研修と研究	17	研修会や研究会には意欲をもって取り組んでいる。	4.6	よりよい保育の為だということを念頭に置き、園で情報を共有できるよう意欲を持って取り組む。
	18	保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある。	4.0	様々な事が保育に繋がると考え、やりたい事、やったことのない事にも前向きに取り組んでみる。
	19	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている。	4.7	ケガに繋がることもあるので、わからない場合は他職員に聞いたり調べたりして、特徴や使い方を把握する。
	20	様々な変化の中で、園児にとって何が問題であるか、それに対してどのような保育を行わなければならないかについて考えたり学習したりしている。	4.4	情報収集に努め、報告会議だけでなく、職員間でも保育について悩んでいる事や、子どもの事を相談し合い、真学園としての考えを共有できる場もあればよいと思う。

今年度の職員の自己評価の結果を公表し、保護者の代表として父母会役員の方々から以下のような意見や感想をいただきました。今後の運営や教育・保育にいかしていきたいと思えます。貴重なご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

【 保護者の方々からのご意見 】

○保育の計画性 （評価項目1～4）

- ・毎日お忙しい中、子ども達が安全に快適に過ごせるよう掃除など徹底して頂き、先生方には感謝致します。

○保育の在り方・幼児への対応 （5～8）

- ・お迎えに行くと先生同士で引き継ぎしているのを見ることがあり、お忙しい中とてもありがたいです。
- ・フリー参観では、子ども達に対する適切な声かけ、子ども達にとって安心できる場であるということを感じました。そして子どもたちの真剣に向き合う姿勢を見て嬉しく思いました。保護者と一緒になり子どもの成長に携わっていく先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・どんな小さなケガでも報告してもらえるので安心です。
- ・個人面談のみで、ほとんど担任の先生とお話する機会がなかったので、より園での様子がわかるようにしてほしいです。

○教師としての資質・能力・適正 （9～11）

- ・いつも皆さん笑顔で、目を合わせて挨拶してくれます。
- ・園長先生と先生方の話し合いが上手く伝わっていない時があり、少し不快に思う場面がありました。忙しい中で大変だと思えますが、今後少し気をつけていただけたら嬉しく思えます。

○保護者への対応 （12～14）

- ・真学園の先生方はいつも礼儀正しく丁寧な対応をされている印象です。
- ・ある場面で声をあげたり、態度で見ている側が不快なことがありました。

○地域の自然・社会との関わり（15・16）

- ・草花・土・自然にふれる機会を増やし、食育に繋がると良いと思えます。プランターで野菜を育て収穫するなど、小さな頃から食べ物に対する興味知識が持てたら良いです。
- ・給食では、なるべく添加物の少ない物の方が子ども達の発達にはありがたいです。
- ・温暖化で四季を感じにくくなっているが、その時期ならではの楽しみを体で感じてほしい。

○その他

- ・教育方針については賛同しておりますし、懇切丁寧な対応には大変満足しております。今後ともよろしくお願いたします。
- ・アプリのトップページで見返したい手紙を載せてくれるようになりとても助かっています。
- ・この形式だと昨年度との比較、変化がわかりにくいので、一列足して「昨年度評価平均」もあるとわかりやすくて助かります。
- ・行事のお知らせ（発表会など）で衣装や雪道具の連絡をもう少し早くいただけたら助かります。